

小児の“健康”をめぐる 100 年ストーリー

～病弱・身体虚弱児に対する教育の視点から考える～

竹田一則先生

筑波大学人間系 教授（小児科学）

令和4年7月11日（月）18:30～20:30

ウェブセミナーにて開催

日本では、100年以上前から病弱・身体虚弱の小児に対する教育的取り組みが行われてきました。コロナ禍により小児の“健康”に対する捉え方が揺らいでいる今、医療や保健、福祉などの社会状況に大きく影響されてきたその変遷を辿ることから、どの様な示唆を得ることができるか、改めて考えてみる機会にできればと思います。

今回の勉強会では、筑波大学の竹田一則先生に「小児の“健康”をめぐる 100年ストーリー～病弱・身体虚弱児に対する教育の視点から考える～」の演題で、お話していただく予定です。ウェブセミナー受講希望の方は、7月4日（月）までに下記QRコード・URLからお申し込み下さい。

この講演会は日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部とアール医療専門職大学、茨城県理学療法士会の後援を受けています。この講演会に参加されますと、**日本プライマリ・ケア連合学会 認定医1単位と認定薬剤師1単位**が取得できます。また人間総合科学学術院専門基盤科目とフロンティア医科学専攻の医科学セミナー4（プライマリ・ケア）の一部となっています。

【申込みフォーム】

<https://forms.gle/85rzaxMeCd3s8wfa9>



保健・医療・福祉に関する勉強会 事務局
柳 久子